

考えよう 防災 のこと



【問合せ先】地域安全課消防防災係
(☎ 28-9510)

「クルマ」で避難生活を送るときへの備え

災害時に避難所ではなく車を避難先とし、数日間、車で生活することを車中泊避難といいます。災害時は、命を守るための「避難」が重要です。しかし、感染症の感染リスクやプライバシーの確保などの課題もあり、分散避難が呼びかけられる中、車中泊避難を選ぶ方が増えています。また、避難所に入れなかった場合や大雪での大規模な立ち往生などにより、車中泊を強いられる場合もあります。

そのような事態に備え、車中泊避難の注意点や準備などについて考えてみましょう。



安全な車中泊避難のための3つのポイント



場所選びが重要!

1

安全な場所を選びましょう!

- ▼建物が倒壊しても被害を受けない場所を選ぶ
- ▼ハザードマップ上で災害リスクがない場所を選ぶ
- ▼近くにトイレがある場所、物資が手に入る場所を選ぶ
- ▼豪雨時の屋外避難は危険なので、車での移動は控える
- ▼大雪時はマフラー周りが埋まらないように注意する

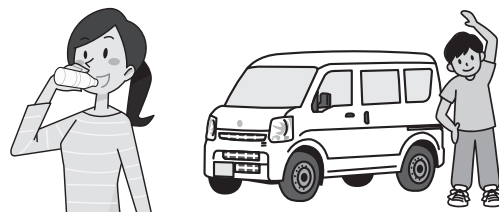


エコノミークラス症候群に注意!

2

車中で体調を崩さないように注意しましょう!

- ▼水平に足を伸ばしたまま寝るようにする
- ▼熱中症や防寒対策を万全にする
- ▼使えるトイレを確保する
- ▼水分補給や適度な運動を心がける
- ▼異変を感じたら、すぐに119番へ連絡する



ふだんから車内に備えておこう!

3

必要なものを用意しよう!

- ▼クッション、毛布
- ▼断熱マット、バスタオル
- ▼携帯トイレ
- ▼電池、モバイルバッテリー
- ▼水、食料
- ▼燃料 (ガソリン)
- ▼家族構成などに合わせて必要なもの (ミルク、おむつ、常備薬など)



(参考資料: 新潟県パンフレット「クルマで避難生活をするときのソナエ」)